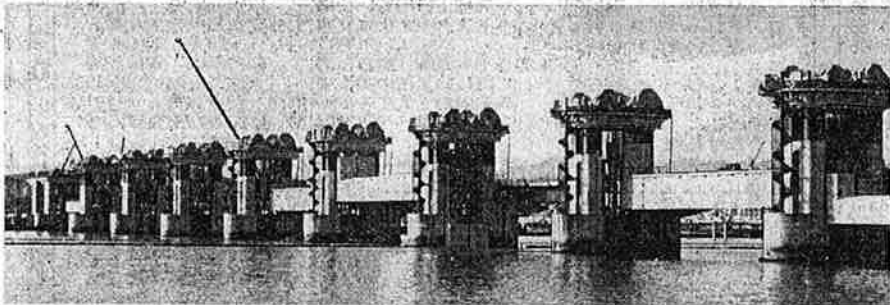


「河口堰・しゅんせつ 洪水防止に不可欠」

88年着工時、裏付け数字なし

建設省、係数変え90年に最高水位算出

長良川河口堰(せき)について、建設省は「洪水を防ぐには、川底を掘るしゅんせつと堰が欠かせない」としてきたが、一九八八年の着工当時、どれくらいしゅんせつをしたらいいかという裏付けデータは持っておらず、着工から三年経過した九〇年になってデータ作りをしていたことが六日、建設省の内部資料や説明で明らかになった。現状の川でこれまでの大水に耐えられるか、流況能力の検証がまままま工していたことになる。堰の建設は八八年に閣議決定されてきたが、反対派などからは「経過が不自然。治水のために本当に堰が必要だったのか」と資料公開を求める声が出ている。

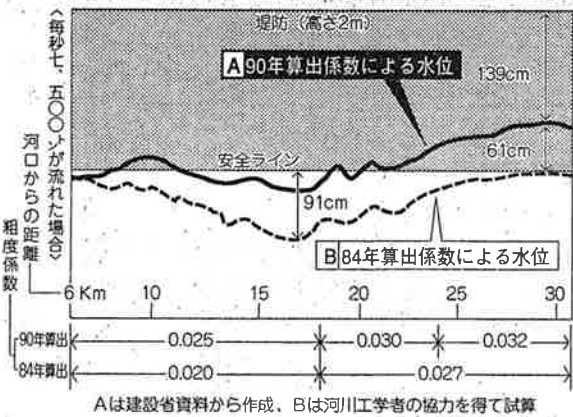


十三本の堰柱にゲートの取り付けが進む長良川河口堰。11月月末

旧84年に「不適切」と採用せず

建設省は昨年四月、「長良川河口堰に関する技術報告」を公表。現状の川で大水に耐えられる限度を、具体的な数字で初めて示し、反対派の「現状の流下能力を明らかにせよ」という要求に答えた。

その中で、現状(八七年)の長良川だと、毎秒六千四百トが安全に流せる限界という水位図を示している。このシミュレーション



Aは建設省資料から作成、Bは河川工学者の協力を得て試算

描くのに使う治水計算の基礎になったデータは、長良川が決壊した「安八・墨俣水害」(七七年)の流量と水位。しかし、建設省によるこのシミュレーションが描けるデータ処理をしたのは、水害から十四年たった九〇年初めだった。

「都合悪く新データ作成？」 反対派

同じ「安八・墨俣水害」(七七年)のデータをもとにしたが、河口堰の本格着工(八八年)をはさみ、建設省は八四年と九〇年に異なる二つの係数(粗度係数)をばき出した。川の深さや断面積など実測値が同じでも、違う係数で治水計算すれば、描かれる水位図も違ってくる。粗度係数は「川の流れにくさ」(摩擦)を示す値なので、同じ規模の川に同じ水害が流れても、摩擦が強くて流れていく川の方が、水位は高くなる。

二つの違った粗度係数が生まれたのはなぜか。建設省の説明だと、「安八・墨俣水害」では計四日間四回の出水ピークがあり、八四年に算出した粗度係数は一日目の「第一波」、九〇年に算出した粗度係数は四日目の「第四波」が算出の基本になっている。

しかし着工の時点で、「四波係数」がまだ算出されておらず、「二波係数」しかなかった。試みに、複数の河川工学

者の協力を得て、この一波係数と、八七年の河道測量データ「河床年報」(建設省内部資料)を使って治水能力計算をする。想定される最大出水でも安全ライン以下で流れるシミュレーションとなる。建設省は、この係数を「不適切」として採用しなかった。

四波係数の算出まで六年もの間隔が開いた理由について、中部地建では「なぜやらなかったかは、当時の担当でない」と分らないとしている。

この前提に立てば「治水力を建設省にただしてきた河口堰建設を止めろ」という原告の一人、岐阜市の村瀬敏之さん(八四年データ)は、建設省には都合が悪く、隠し通さなくてはならないデータ作りで動いたのではないかと、建設省は、四波係数を採用したのには、その数値で治水対策を立てる方が安全度高いからと説明する。しかし、一波係数が不適切とするなら、なぜ算出時点を着工前に、四波目の出水の検討や流況能力を再検証しなかったのか、なぜこの疑問は残る。

「王様とマーガレット」さん(米作)のため、30年代に校の教師と在のタイ、19世紀庭教師を知り、「マンナ」という、同作され、次の「主演のミ」エーで上演で再映画化大ヒットし

計画は一九八八年に閣議決定。水資源開発公団が八八年、三重県桑名郡長良町の河口から五・四キロ上流に着工、九五年三月完成を目指す。九〇年に一度の確率で起きるとされる大出水の時、下流部で毎秒七千五百トが流れると想定。このため川底をしゅんせつして容量を大きくするが、これに伴い海水が流入して塩害が起きるので、堰で防ぐとしている。せき止めた淡水は、東海地方の都市用水に使う。最大取水量は毎秒一十二・五ト。

ちょっとした数字を算出していなかったのは事実」と認められている。

ところが、建設省は、着工四年前の八四年、やはり「安八・墨俣水害」の流量と水位を基に、コンサルタント会社にデータ処理を依頼し、水位図を描く治水計算に使う「粗度係数」(川の流れにくさを表す値)を算出していた。

この会社が建設省へ提出した報告書にある係数の値は、九〇年の算出値より小さく、これを使って同様の方法で最大出水時のシミュレーションをすると、水は安全ラインを下回る水位図になっていた。

この前提に立てば「治水力を建設省にただしてきた河口堰建設を止めろ」という原告の一人、岐阜市の村瀬敏之さん(八四年データ)は、建設省には都合が悪く、隠し通さなくてはならないデータ作りで動いたのではないかと、建設省は、四波係数を採用したのには、その数値で治水対策を立てる方が安全度高いからと説明する。しかし、一波係数が不適切とするなら、なぜ算出時点を着工前に、四波目の出水の検討や流況能力を再検証しなかったのか、なぜこの疑問は残る。

体験入学会
12月11日(土) 10時~12時
SIGHT & SOUND COLLEGE
インストラクター指導
★実演★
★シブシブ実演あり★
6年度 願書受付中

「王様とマーガレット」さん(米作)のため、30年代に校の教師と在のタイ、19世紀庭教師を知り、「マンナ」という、同作され、次の「主演のミ」エーで上演で再映画化大ヒットし

本に
あなたの手
「王様とマーガレット」さん(米作)のため、30年代に校の教師と在のタイ、19世紀庭教師を知り、「マンナ」という、同作され、次の「主演のミ」エーで上演で再映画化大ヒットし

自衛隊基地で

突二人が死に、二人が大重傷。タンクは午後七時半ごろ鎮火した。

を所持していたとして現行犯逮捕された。取り調べで

関西線で信号故障